

校長室だより

No. 2

平成28年4月15日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

教育目標と本年度の重点目標

年度初めにあたり、本年度の学校経営方針等をお示しします。

教育の世界では、新しい学習指導要領の方向が議論されています。不易と流行の視点、そして昨年度の反省をふまえ、次ページのように本年度の重点努力目標を作成しました。下線部分が昨年度と比べ、整理・変更した部分です。具体的な手立ては、今後少しずつお示ししていきたいと思っております。



(1) 本校の教育目標

校訓「誠」の精神を支柱に、「いつもにこにこ元気な子」をスローガンに掲げて、次のようなめざすべき子供像をもって本校の教育目標とする。

- ・べんきょうがだいすきな子 (確かな学力の育成)
- ・うんどうがだいすきな子 (たくましい体力の育成)
- ・ちゅうぶがだいすきな子 (心豊かな子の育成)

(2) 経営方針

ア 学習指導要領をふまえた教育課程の編成のもと、「確かな学力」を身につけ「生きる力」をもった子供を育てる教育活動を展開する。

イ ESDプロジェクトを推進し、教材、教科、人、地域との「つながり」や「かかわり」を基に、未来に対して責任のある生き方ができる子を育成する。

ウ 運動する機会や時間を確保するとともに、特色ある運動を取り入れ、楽しみながら柔軟性を高めることと、体力の増進を図る。

エ 日本の伝統文化や季節感を大事にし、本物に触れる、体験する活動を充実させ、郷土を愛する心を育てる。

オ 専門職としての自覚をもち、たゆまぬ研修と研究に努め、授業力・指導力の向上を図るとともに、知識・技能・教養を高める。

カ 保護者や地域の人々に愛され、信頼される学校、地域とともに歩む学校づくりを教職員一体となって取り組む。

(3) 本年度の重点努力目標

ア ベんきょうがだいすきな子を育てる

- ・正しい姿勢や学習用具の正しい使い方を身につけさせるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る。
- ・子供のものの見方や考え方、感じ方の理解に努め、「見通し」「振り返り」を大切にしたい問題解決的な単元・授業を構想し、思考力を育成する。
- ・人の話を共感的に受け止め、理解し、考え、表現する姿勢と思いやりなどの心の醸成を図る。
- ・知識・技能を活用したり実践力を育成したりする時間（単元構想を含む）・場・ものの整備に努める。

イ うんどうがだいすきな子を育てる

- ・種目・教材の開発、準備運動の方法や指導方法の工夫に努め、運動に意欲的に取り組む態度とバランスのよい体力を育成する。
- ・集会や長い休憩時間に、運動に親しむことができる遊びや道具の紹介、環境づくりに努める。
- ・竹馬、一輪車、縄跳びなどの運動を取り入れ、成果を自覚する場をもつ。

ウ ちゅうぶがだいすきな子を育てる

- ・本年度行われる市制 100 周年記念行事を核に、岡崎市と中部学区の歴史・伝統・文化を教材化し、学習活動を展開する。
- ・地域の人から学ぶ活動や地域の人とともに行う活動、地域の自然を見つめたり、自然の中で体験したりする活動を大切にする。
- ・学級活動、委員会活動、兄弟学級・六ツ美中保育園等との異年齢交流において、子供の主体的、意欲的な活動を展開する。また、六ツ美中学校との連携を図る。

少人数指導（算数） 今年も充実を目指します

本校では、本年度も、4～6年生の算数で少人数指導授業を行います。発達段階と子供の実態を合わせて考え、5・6年生を少人数分割型（1つの学級を2つに分ける）、4年生をTT（ティーム・ティーチング）型で行い、効果をあげたいと考えます。5・6年生の少人数分割型は、きりのよい単元から始めます。御理解ください。